



やらまいか

クラブテーマ：リラックス・ロータリー ～親睦と奉仕、肩の力を抜いて～

会長／樺山修一 幹事／細井勉 会報委員会／大仁孝泰・鈴木卓也 例会／毎週火曜日 12:30 豊川商工会議所
事務局／豊川市豊川町辺通 4-4 豊川商工会議所会館内 TEL0533-86-2535 Fax0533-86-8889 HP: <http://toyokawahoi.tank.jp/>

本年度第8回 通算1687回 2022年9月6日(火)	出席報告	会員総数	出席者数	出席率	8/22 修正出席率
		72名	34名	53.1%	80.6%

ゲスト：(なし) ビジター：メイクアップ受付3名

★会長あいさつ



樺山修一会長

台風11号は九州の北をかすめ、日本海へ抜けてゆくようです。幸い、この地域は大きな被害は出ないようですが、8月の大雨に

続いて、各地で甚大な被害がでなければと思います。

コロナの第7波はピークアウトを迎えようとしています。身近なところで感染者も出ています。オミクロン株対応のワクチン接種も始まりますし、治療薬の特例承認も行われたので、コロナに対してはもう少しの辛抱になりそうです。

9月1日は、大正12年(99年前)に関東大震災が発生した日であるとともに、暦の上では立春から数えて二百十日に当たり、台風シーズンを迎える時期でもあります。また、昭和34年(63年前)9月26日には「伊勢湾台風」があり、その被害は戦後最大のものでした。このことがきっかけとなり、昭和35年に、災害に対する心構えなどを育成する目的で、9月1日が「防災の日」と制定されました。

一昨年、ものづくり補助金の加点項目の一つである「事業継続力強化計画」というものを弊社で策定する折に、豊川市のハザードマップやJ-SHISマップを閲覧する機会がありました。私の事業所は今後30年以内に震度6弱以上の地震が発生する確率が

71.3%であることが分かりました。J-SHISマップは地震についてのハザードマップで、町名を入力するとピンポイントで地震発生確率が表示されます。ご自身のお住いの地区や事業所でどのくらいの発生確率になっているか調べることが出来ます。

また、9月27日の例会は財団補助金事業「小学生の防災教室支援」ということで、豊川市防災センターで行います。防災センターは有事に災害対策本部や応援部隊の活動拠点になります。2年前の4月に供用開始されましたが、不在者投票で行かれた方もいるかもしれませんが、あまり行く機会もないと思いますので、良い機会だと思います。そして、日常生活の中で常に意識しておくことは難しい「防災」ですが、せめて年に一度くらいは身近に起こりうるものとして考え、日ごろの対策を見直してみるとよいかもかもしれません。

本日の例会は雑誌広報委員会の担当ですが、細井幹事が代行して頂けるそうです。ロータリーの友、パズルdeロータリーは10名の当選に対して、応募者はなんと100名ぐらいです。確率は約10分の1のところ、私は10回以上応募しているので、そろそろ当選するのではと楽しみにしています。

★幹事報告

細井 勉幹事

青森県大雨災害の義捐金について
9月27日財団補助金事業例会について
台中松竹RCの会報の回覧について

★雑誌広報担当例会

ロータリー雑誌について 細井勉幹事（代行）



今月は、ロータリーの友月間なので、ロータリーの友について紹介説明をします。

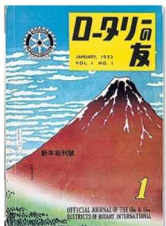
ロータリーの友は、今年創刊70周年を迎えます。




**『ロータリーの友』は
創刊70周年を迎えます**

名前
2022年●月●日

1953年1月 創刊



1952年7月、日本のロータリーが2地区に分割されました。分割後も、お互いのことを知っていたいという思いから、翌1月両地区に共通の雑誌が発行されました。創刊号は全て横書きでした。

ロータリーの友 創刊号
(1953年1月号)

ロータリーの友は1953年1月に創刊しました。

1952年7月、日本のロータリーが2地区に分割されました。分割後も、お互いのことを知っていたいという思いから、翌1月両地区に共通の雑誌が発行されました。創刊号は全て横書きでした。

これまでの『友』が全巻オンラインでお読みいただけます。詳しくは、2022年9月号をご参照ください。閲覧にはクラブ単位で発行しているID、パスワードが必要です。7月1日付でお送りしている友誌請求書に記載しています。クラブ事務局など請求書

を管理している方にご確認ください。

友では創刊70周年して、「バックナンバーでたどる『友』70年」「友委員長10年を語る」などを企画しています。その一つが「創刊70周年俳句コンテスト」。クラブの例会で、みんなで一句読んでみませんか？募集期間は募集期間 2022年9月1日～23年2月28日応募資格 ロータリアン、その家族、ローターアクター、インターアクター、米山奨学生など、ロータリーのプログラム参加者など。詳細は友9月号をご覧ください。たくさんのご応募をお待ちしています。

創刊70周年俳句コンテスト


募集期間 2022年9月1日～23年2月28日

応募資格 ロータリアン、その家族、ロータリーのプログラム参加者など

テーマ ロータリー

発表 『友』23年6月号

※詳細は友9月号をご覧ください



選者は、夏井いつきさん

ロータリアンには国際ロータリー（R I）が認可したロータリーの雑誌の購読義務があります。

日本のロータリアンは、アメリカ本部で発行している『ROTARY』もしくは『ロータリーの友』を購読することになっています。R Iに認可された雑誌が世界には30種類以上あります。認可を受けるためにはいくつかの条件があります。

国際ロータリー（RI）に認可を受けるために（一部）

- ① RIが指定した記事を掲載すること
- ② 年に6回以上発行すること
- ③ 雑誌の内容の50%はロータリーに関係した記事であること
- ④ 国際ロータリーの方針を正しく伝えること

毎月、R Iが掲載を指定してくる記事は、会長メッセージ、財団管理委員長メッセージ、国際大会の参加推進記事です。指定記事には、地球儀にR Iと書かれたロゴが付いています。必ずお読みください。



横組みと縦組みがある理由としては、ロータリーの友の創刊時は、全て横書き（横組み）でした。しかし、俳句を掲載するようになり、部分的に縦書き（縦組み）で掲載するようになりました。その後、横書き、縦書きが混在していましたが、縦書きで掲載する記事も増えてきたため 1972 年 1 月号から横書きと縦書きを分けた形式になりました。この時から、表紙は 2 つになりました。

現在、横組みでは、RI 関係の記事、特集、ロータリーに関する理解を深める記事を中心に取り上げています。

縦組みは、投稿を中心に、国内のロータリークラブの活動や会員個人のエッセーを中心に、会員同士の親睦を深められるような記事を掲載しています。親しみやすく、人気があるのは縦書きの欄です。

RI の指定記事を読んでこそ、会員の購読義務を果たしたといえますので、まずはそちらをご一読下さい。



ロータリーの友の今年度 8 月号以降の表紙は、障害のある人が創作した作品で表紙を飾っていきます。アートは健常者の特権ではありません。障害のあるなしにかかわらず、豊かな才能と表現で彩られた作

品を紹介することで、DEI (ディーイーアイ/多様性、公平さ、インクルージョン) 推進に取り組むロータリーの方針をアピールします。

ロータリーの友では、皆さまからのご投稿をお待ちしています。お気軽にご投稿ください。

友ウェブサイトから投稿フォームもご利用できます。投稿に際しては、友の誌面にある「投稿規定」あるいは、友のウェブサイトをご覧ください。ご不明な点があれば、誌面に掲載している、編集部アドレスにメール、もしくはお電話でお問い合わせください。たくさんのご投稿をお待ちしています。



『ロータリーの友』は ロータリアンを結ぶお手伝いをします。ご活用ください。

★ニコニコボックス

- 細井 勉会員 本日の例会を代行します
- 青谷友章会員 誕生日を祝って頂き
- 梅田喜嗣会員 //
- 林 博宣会員 //
- 金田 征宏会員 //
- 竹本裕一会員 事業所創業を祝って頂き
- 小田伊佐浩会員 //
- 縦山修一会員 //

会報担当：大仁孝泰・鈴木卓也